

# 予算特別委員会

## ●質問者

- 館 静馬 (いばらき自民党)
- 星田 弘司 (いばらき自民党)
- 萩原 勇 (いばらき自民党)
- 山中 たい子 (日本共産党)
- 二川 英俊 (民進党)
- 八島 功男 (公明党)
- 白井 平八郎 (自民県政クラブ)
- 村上 典男 (いばらき自民党)

館 静馬委員 (自民) 待機児童対策について、平成二十七年からの「大好きいばらき次世代育成プラン」において、平成三十一年度までに待機児童ゼロを目標に設定しているが、今後どのような計画で待機児童を解消するのか。

知事 子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、市町村では、平成三十一年度待機児童を解消することを目標とした子ども・子育て支援事業計画を策定した。このため、各市町村が、当計画を着実に実行することが重要と考えるが、県としても、各地域の保育の実情などを勘案しながら、市町村と連携し待機児童の解消のために必要な施策を検討し対策を講じるなど、積極的な取り組みを進めていきたい。(ほかに、あすなろの郷の現状も質問)

星田 弘司委員 (自民) つくば国際戦略総合特区については、計画を延長し、産学官が連携して研究を進め、さらなる成果を求めるときと考えるが、今後どう取り組むのか。

知事 延長に向けて、自治体や研究機関などで構成する地域協議会で次期計画案の協議を行った上で国に申請し、年度末の認定を目指していく。今後は、

技術シーズと企業ニーズとのマッチングを行うコーディネート機能を強化するほか、関係機関と連携してプロジェクトの課題やニーズを把握し、規制緩和措置や財政・税制の支援措置などの活用を促進し、新事業・新産業の創出により一層取り組んでいく。(ほかに、学校における救命講習(仮称)つくばスマートICなども質問)

萩原 勇委員 (自民) 大学において専門的知識を学ぶスポーツトレーナーの卵を、県立高校の運動部活動において活用することを通じて、子供たちの強い身体づくりに取り組むべきと考えるが、所見は。

教育長 専門的な知識や技術を学ぶ学生を県立高校の運動部活動において活用することは、生徒のバランスのとれた身体づくりや、運動部活動のさらなるレベルアップを図る上で大変有効であることから、今後設置する予定の運動部活動推進委員会の中で、外部指導者の位置付けと併せて、大学との連携実現に向けた具体的検討を進めていく。(ほかに、国体・障害者スポーツ大会を契機とした笠松運動公園整備などの在り方、土砂災害対策なども質問)

山中 たい子委員 (共産) 市町村や茨城県租税債権管理機構において、国税税の滞納処分として厳しい差し押さえが行われている。これまで、「生活費まで差し押さえるような違法な差し押さえはしていないと考えている」とのことであったが、国税徴収法の差し押さえ禁止財産などの規定についての認識は。

知事 市町村などでは、滞納する世帯の特別な事情の把握ときめ細やかな納税相談を行っている。県は、支払能力があるのに納付しないなど悪質な滞納者に対して差し押さえする一方、財産のない世帯などには滞納処分の執行

停止をするなど、個別案件に応じた適切な対応を市町村に助言している。(ほかに、土砂などの埋め立てへの規制、特別支援学校の増設なども質問)

二川 英俊委員 (民進) 全県的な取り組みのモデルとして、県職員のワーク・ライフ・バランス実現のためには、職場全体での機運醸成や管理職への教育が重要と考えるが、どのように取り組むのか。

知事 ワーク・ライフ・バランスの推進は、優秀な人材の確保、公務の能率的な運営などの観点から極めて重要と考える。そのため、夜七時に県庁舎のライトダウンを行う完全消灯日の設定、年次休暇の連続取得の奨励などで機運の醸成を図るとともに、部下の仕事と生活の両立を支援するイクボス養成講座により管理職の意識啓発に取り組む。(ほかに、中丸川の整備、義務教育課程における携帯電話・スマートフォン利用に関する教育なども質問)

八島 功男委員 (公明) ICT活用は時間の有効活用や、費用の削減、職員の生産性向上と働く意識改革につながることを考えるが、県庁におけるタブレット端末導入について、研究会の立ち上げを含め、導入に対する所見は。

企画部長 県として、タブレット端末などを導入し、多様な働き方による業務効率化を推進することとした。今年十月から、職員にタブレット端末を貸与し、出張先などで活用するモバイルワークを試行するので、試行に参加した職員などを構成員に研究会を立ち上げ、タブレット端末利用の在り方について、調査・検討を進めていく。(ほかに、中小企業金融の円滑化、個別事業のフルコスト情報の開示なども質問)

白井 平八郎委員 (自民) 日本有数の

のロボット研究開発の拠点となる本県の強みを生かし、県は本年三月に「ロボットイノベーション戦略」を策定したところであるが、どこに重点を置き、どのような方針で進めていくのか。

知事 特に、「社会が抱える課題をロボット技術の活用により解決するシステムづくり」が重要と考え、社会のニーズにあったロボット開発、社会実装に向け、新たにロボット技術利用研究会を設置するとともに、実証試験・実用化支援事業を実施している。これらの取り組みにより、本県におけるロボット産業の育成、振興を図り、「ロボット利用先進県いばらき」を目指す。(ほかに、科学技術を担う人材育成、学校における食育の推進なども質問)

村上 典男委員 (自民) 河川整備においては、最も効果的な手法を見極め、事業を絞り込んでいく必要があると考える。限られた予算の中で最大の効果をあげるといふ観点から、今後の濁り川整備にどのように取り組むのか。

土木部長 平成二十六年の台風十八号による家屋浸水を契機に行った測量調査の結果を踏まえ、今後の効果的な整備の進め方について検討してきた。その結果、流下能力が不足している一連区間や局所的なボトルネック箇所について、土砂掘削などを優先的に実施していくほか、長期的な治水計画を定めた河川整備計画に基づき、下流から順次、整備を進めることとしている。(ほかに、太陽光発電施設に係るガイドライン、今後の農業振興なども質問)

## お知らせ

次回の、平成28年第4回定例会は、12月1日から22日までの22日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
12.1	木	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
2	金	休会(議案調査)
3	土	
4	日	
5	月	休会(議案調査)
6	火	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
7	水	本会議(一般質問・質疑)
8	木	本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
9	金	休会(委員会審査準備)
10	土	
11	日	
12	月	休会(常任委員会)
13	火	休会(常任委員会)
14	水	議会運営委員会 本会議(予算関係議案常任委員長報告、予算関係議案予算特別委員会再付託)
15	木	休会(大規模災害対策調査特別委員会)
16	金	休会(国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会)
17	土	
18	日	
19	月	休会(決算特別委員会)
20	火	休会(予算特別委員会)
21	水	休会(議事整理)
22	木	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)



9月27日に行われた予算特別委員会における質疑の様子